

決済動向

— 平成6年10月 —

(平成6年12月12日)

1. 日本銀行における決済関連計数

10月の日銀当座預金受払(受払合計、1営業日平均)は、件数ベースでは3.1万件(前年比+1.8%)、金額ベースでは325.7兆円(前年比△0.4%)となった(6年1月17日の内国為替制度改正以前のベースで試算した金額の前年比は+3.8%)。金額の内訳をみると、当座預金振替等は306.0兆円(前年比+5.2%)、民間の集中決済制度に係る資金決済は14.1兆円(前年比△51.5%)となった(従来のベースで試算した民間の集中決済制度に係る資金決済は前年比△4.5%)。

10月の国債の決済件数・金額をみると、登録国債の移転登録(片道ベース、月中合計)は、件数ベースで3.7万件(前年比+5.1%)、金額ベースで98.4兆円(前年比△2.1%)となった。

また、日本銀行における振込国債の口座振替(片道ベース、月中合計)は、件数ベースで3.5万件(前年比+1.9%)、金額ベースで175.4兆円(前年比△21.7%)となった。

10月の国庫金取扱高(受払合計、1営業日平均)は、件数ベースで129.5万件(前年比+3.3%)、金額ベースで5.3兆円(前年比+5.0%)となった。

10月の日本銀行における銀行券受払高(月中合計)は受入高6.8兆円(前年比+8.7%)、支払高6.7兆円(前年比△4.1%)となった。

2. 民間決済システム関連計数

民間決済システムにおける取扱金額・件数をみると、10月の手形交換高(東京手形交換所、片道ベース、1営業日平均)は、枚数ベースでは45.7万枚(前年比+7.2%)、金額ベースでは8.9兆円(前年比△15.8%)となった。

10月の全銀システム取扱高(片道ベース、1営業日平均)は、件数ベースでは359.9万件(前年比+8.8%)、金額ベースでは7.5兆円(前年比+2.2%)となった。

10月の外為円決済交換高(片道ベース、1営業日平均)は、件数ベースでは2.9万件(前年比+7.9%)、金額ベースでは26.4兆円(前年比+6.8%)となった。

3. その他

10月の東京金融先物市場の取引数量(円短期金利先物、片道ベース、1営業日平均)は12.7万契約(前年比+35.5%)、月末の建玉数量は135.6万契約(前年比+76.0%)となった。

10月のS W I F T総送信件数(本邦分、月中合計)は、194.6万件(前年比+19.8%)となった。

(信用機構局)